

平成 25 年 8 月 20 日

第 20 回玄海町立小中学校基本構想等検討委員会

1. 開 会

2. 協 議

I. 教育ビジョンの提案・協議

①校名、校歌、校章、校訓、校旗

II. 検討委員会作業部会の進捗について

III. 校舎建設の状況等について

IV. その他

①先進校視察について

3. 次回日程の確認

平成 25 年 月 日 ( ) 18 時 30 分～20 時 00 分

4. 閉 会

## I. 教育ビジョンの提案・協議

### 1. 校名、校歌、校章、校訓、校旗

#### (1)校訓とその意義

校訓とその存在意義(広辞苑及び文科省報告書より)

校訓：学校で訓育上の理念・目標を成文化したもの。※訓育・・・教え育てること

存在意義：学校づくりの在り方として、一つの重要な方向性を示すもの。また、学校づくりに関わる人々に価値観の共有をもたらす。

#### (2) 校訓の基本情報

新校のコンセプト

小中一貫校のコンセプト・・・「愛着」をテーマに学校施設、ビジョンを検討。

さらに、小中一貫校で育てたい子どものイメージとして、これまでの教育ビジョン等を総括し、

I. 社会に適応し、コミュニケーションや協調性を有する子ども

II. 自分自身に誇りを持つ、自己の人格に尊厳を持つ子ども

III. コミュニケーションが取れる語学力を有する子ども

IV. 状況に応じて、自己で対応・対処ができる能力を有する子ども

を育成していきたい。

#### (3)校訓について

①玄海町の教育の柱となる言葉

②玄海町の小中一貫校をイメージできる言葉

③夢、目標のある言葉

④明瞭、親しみやすい、浸透しやすい言葉

#### (4)これまでの意見等

●校訓は、学校の柱となり、学校名の基礎ともなる。

●校訓は、知徳体で言葉を組み合わせた言葉が多い。

●公募する場合は、公募の条件の出し方、条件の付し方に検討が必要。公募をしても、単純に広く集めるのではなく、どのように募っていくのかを考えなければならない。また、何がしか町民の方が選ぶ行為も必要になるのでは。

●校名は平成 26 年 6 月までに議会に上程したい。

●呼称(〇〇学園)をつけるのか、それぞれの学校名にするのか、そのから検討する必要がある。

●校名の最終的な決定は新しい学校について考えてきた経緯として、作業部会で検討し、この検討委員会で決定し、決まった手順を踏んで、議会に提案。

#### (5)第 17 回検討委員会質疑・意見

(意見) 文章にするのか、言葉を繋げるのか。一貫校が目標とするところはなんなのか、どういう人間を育てたいのか。明瞭であって、親しみやすく、浸透しやすい言葉。例えば、小学校 1 年生でも分かるような言葉ということもあるし、逆に最初はわからなくても徐々にわかっていくこともありえる。

(意見) 校訓を 3 つ立てて、校歌を作るときに、歌詞に入れていくと歌えるまで

できるかなど。1番には、1つ目の校訓が、2番には2つ目の校訓が。単語じゃないですけど、そういうものが入ってくる。

(意見) 低学年の子どもも分かり易い校訓がいいのかなど。出来るだけ簡潔なもの。知・徳・体全部入ってた方が良くないとか。玄海町でひたむきさを表すようなものにするのか、一生懸命、精一杯、ポジティブ、前向きにぐっとでるような子どもを育てたい。いくつかを組み合わせたい。長くなると分かりにくくなる。まずは1つあってもいいのでは。

(意見) 校訓は、3つの言葉なのか、中心の柱1つの言葉なのか、どちらがいいのか難しいところ。低学年には分かりにくい言葉でもいんじゃないかと思う。成長と共に変わってくる。背伸びさせる言葉、そういうのもいいのじゃないかと思う。学校の方では、スローガンのようなところが出てくるのかなど。

(意見) (3)にある項目から一つ選び、それに関連する言葉を一人一つずつ出して頂いて、そこから新たな考え方が生まれてくるのではないか。

(次回までの課題)

(3)に書いてある項目から一つ選択し、それに関連する言葉を一人一つでもいいので、提案する。

(6)各委員から関連する言葉の提案

- ①付箋紙に各委員から提案
- ②提案された言葉をホワイトボードに掲載し、関連性のある言葉をグループ化する
- ③グループ化された内容を踏まえ、校訓案をいくつか提示する

(7)第18回検討委員会主な意見・質疑

①各委員から提案された言葉

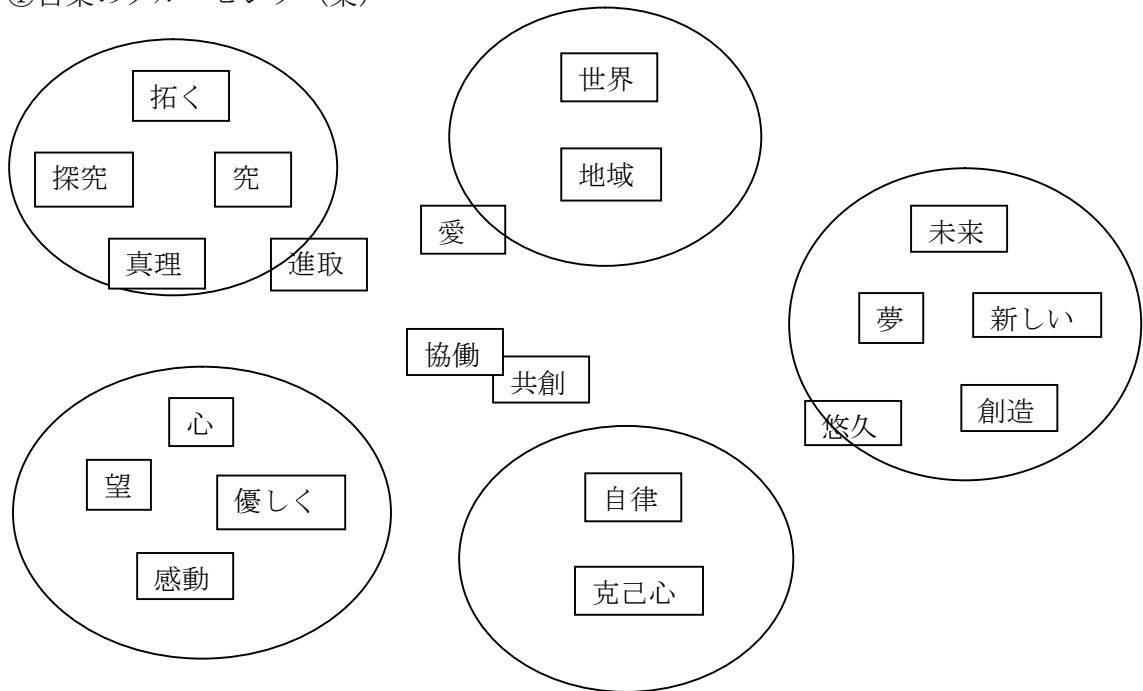
|       |               |                   |        |
|-------|---------------|-------------------|--------|
| 拓く    | 地域とともに未来を創ろう  | 玄海の波の如く強く優しく新しくあれ | 協働と共創  |
| 光・夢・望 | 真理            | 進取                | 協働     |
| 自律    | 創造            | 未来                | 悠久なる探究 |
| 克己心   | 夢と愛を持って世界へ    | 未来へ育む心・技・体        | 夢・愛・感動 |
| 究     | やればできるは魔法の合言葉 | 夢、愛を育み世界へ         |        |

(意見)愛着がおおもとにあり、その中で自分のこと、他人とのかかわりについて述べられている言葉だとみられる。

(意見)たとえば、「玄海の波の如く」とあるが、校歌に入れるといいなあと思う。上記言葉をグルーピングし、次回の検討材料とする。

(8)提案された言葉について

①言葉のグルーピング (案)



②グルーピングから抽出できる言葉

『新』…未来、将来、夢

『究』…真実、追求、本質

『心』…優しい、思いやり、願う

『律』…自律、規範、律する

『愛』…世界、地元愛、愛着

③校訓 (案)

ア. 新しいことに挑戦する

イ. 物事の本質を追求する

ウ. 自らを律する

エ. 思いやりのある心で、友や玄海町を愛する

オ. 世界へ羽ばたく

以上の意味を含めた人となってほしい

(9)第19回の意見・質疑

(意見)前回の検討委員会で、委員さんから出された言葉から単語を抽出し、言葉の意味に合うように案を説明してもらった。

(質問)校訓の決め方として、委員が考えを持ち寄って、いいところや共通点を探して決めていく今のやり方と、玄海町としてどのような学校づくりをしたいのかという理念から直におろして行って、学校はこうあってほしいというやり方もあると思う。共通点からの方向で行くのか、理念の方を加味していくのか。

(回答)事務局としては、いろんな意見の中で組み立てていくということが理想。そのようなことが難しい場合には、理念の方からおろしていくということも考え

られる。今回事務局として考える小中一貫校としては、委員さんから出てきた小中一貫校が「新しい」ものであること、単純に回答を求めるのではなく、なぜそうなったのかという本質を求めていく考え方ができる子供を育てていくこと、コンセプトである「愛着」という言葉にあるように、友達とか地元を愛するという事象を考えたものを見てきている。二つのパターンをおっしゃられたが、結果的には委員さんが提案されている内容が、事務局が考える理念とも合致しているため、このまま検討を進めていきたい。

(意見)校訓として、わかりやすいことが望ましい。

以前は、わかりやすい言葉がいいのではないかという意見と、その時はわからなくても成長に従ってその校訓の意味を理解していく言葉との意見もあった。

(意見)校訓(案)として提案されているが、この中から校訓を選ぶのか、このような内容を含んだ言葉を考えていくということになるのか。

(回答)既存の単語や、造語を作るとか、そういうパターンも考えられる。

(意見)校訓(案)のところに“以上の意味を含めた人となってほしい”とまとめているので、こういう校訓でもありかなと感じた。

(意見)以前の意見でも校歌の歌詞のどこかに入ってくることも考えられる。そうすると、漢字だけで動いていると入れやすい側面もある。言葉にすると、そのものが入るまたはそのものに近いものが入ることが考えられる。せつかなので、校訓のどこかしらは、校歌の1番か2番か3番かに一言ずつ入るといったあり方が一般的か。

(補足)本日頂いた意見を十分に噛み砕いて解釈し、校訓となりうる言葉をいくつかピックアップして、7月中に提案、8月の会議の折にご協議頂きたい。

(意見)次回会議は、8月となっている。8月の会議では、仮決定を見たいとも考えている。本日は、多様な意見を頂くこと、単語にするか文章にするかということに対して意見を頂きたい。

(意見)新しい学校のイメージとして、英語の校訓というものもある。たとえば、致遠館中高は、3C「Challenge、Create、Cultivate」というように新しい学校として、ほとんど日本語になっているような英語を使うのも斬新か。短く、簡潔に一般的。小学生にもわかりやすいように説明文をつければ十分。

(意見)短く、簡潔に。課題として、いくつ残すのかという点。5つの言葉は多い。

(意見)校訓を言葉、文章としてみると、小学生の子供たちには言いやすいのかと考えたが、インパクトや文字から受ける広がりを見ると、個人案としては、②の5つの言葉から、「新」「究」「愛」の3つを定めるのはどうか。「新」とはまさしく玄海町の学校の在り方によるし、新しいことも取り入れていこうとしている中で、合うのではないかと感じる。「究」は、研究とか本質に迫る、真実に迫るといった子供たちに求めていきたいところか。「愛」は当初から出ている愛着というコンセプトをぜひ入れたい。そして、「New Study Love」という感じで考えていくと、子供たちも接しやすいのでは。

(意見)5つあがってるのを見て、このまま使っていいのではないか。ひとつの文字になっている。

(意見)「新・究・愛」の言葉、すごくいいと思う。

(意見)「協働・共創」これからの時代にマッチするのでは。

(意見)文章でも単語でも幼児には受け入れやすい。今のうちに、校訓等で英語が入っていると愛着もわくんじゃないかと思う。

(意見)心ひとつでも色んなとらえ方があるので、学年に合わせて色んな心の校訓ができる。短くまとめてもらう方が捉え方を広げることができるのではないか。

(意見)繋げる言葉・意味をレベルアップさせる。短く完結に。グルーピング内容を生かそう。

(意見)8月の時点で再度検討し、仮決定をみたい。

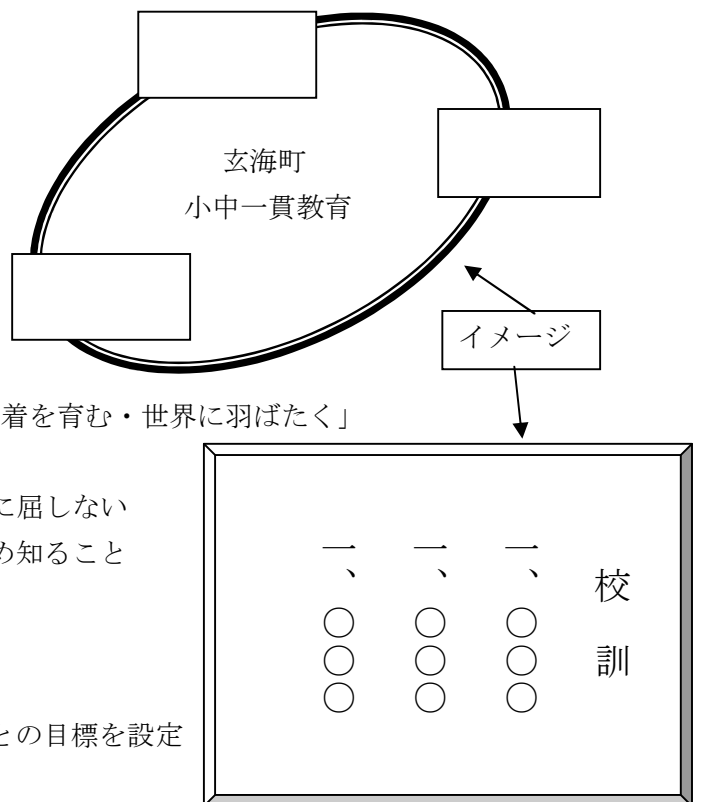
(10)【第20回】「校訓」の提案について

①校訓案

- ア. 「新・究・愛」
- イ. 「愛・究・心」
- ウ. 「新・究・律・愛」
- エ. 「新・究・心・律・愛」
- オ. 「New・Study・Love」
- カ. 「挑戦・追究・愛着」
- キ. 「Challenge・Study・Love」
- ク. 「挑戦・本質を追究・己を律する・愛着を育む・世界に羽ばたく」
- ケ. 「進取」…自ら進んで事をなす  
「剛毅」…意思がしっかりして物事に屈しない  
「究理」…物事の道理・法則をきわめ知ること  
「愛着」

②校訓の活用案

- ア. 教育目標に校訓の要素を取り入れる
- イ. 校訓を具体化し、学年区分(4-3-2)ごとの目標を設定
- ウ. 校歌歌詞への活用



## Ⅱ. 検討委員会作業部会の進捗について（日付順）

### 1. 通学作業部会（第1回）

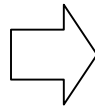
期日：平成26年6月19日（水）  
時間：19時00分～20時30分  
場所：役場 第五会議室  
出席者：9名（1名欠席）  
内容：別添資料 No.1 のとおり

### 2. 学校支援作業部会（第1回）

期日：平成25年6月25日（火）  
時間：19時00分～20時30分  
場所：役場 第一会議室  
出席者：9名（1名欠席）  
内容：別添資料 No.2 のとおり

### 3. 学校運営作業部会（第2回）

期日：平成25年7月9日（火）  
時間：19時00分～20時45分  
場所：役場 第一会議室  
出席者：9名  
内容：別添資料 No.3 のとおり



校名の選定方法について、仮決定。  
仮決定内容の確認

### 4. 通学作業部会（第2回）

期日：平成25年7月17日（水）  
時間：19時00分～20時00分  
場所：役場 第一会議室  
内容：別添資料 No.4 のとおり

### 5. 学校支援作業部会（第2回）

期日：平成25年7月24日（水）  
時間：19時00分～  
場所：役場 第一会議室  
内容：別添資料 No.5 のとおり

### 6. 教育課程作業部会（第1回）

期日：平成25年7月25日（木）  
時間：14時00分～  
場所：役場 第一会議室  
内容：別添資料 No.6 のとおり

### 7. 事務作業部会（第2回）

期日：平成25年8月20日（火）  
時間：13時30分～  
場所：値賀小学校  
内容：備品精査の結果と状況について

### Ⅲ. 校舎建設の状況等について

#### 1. 建設工事（全体工程会議より）

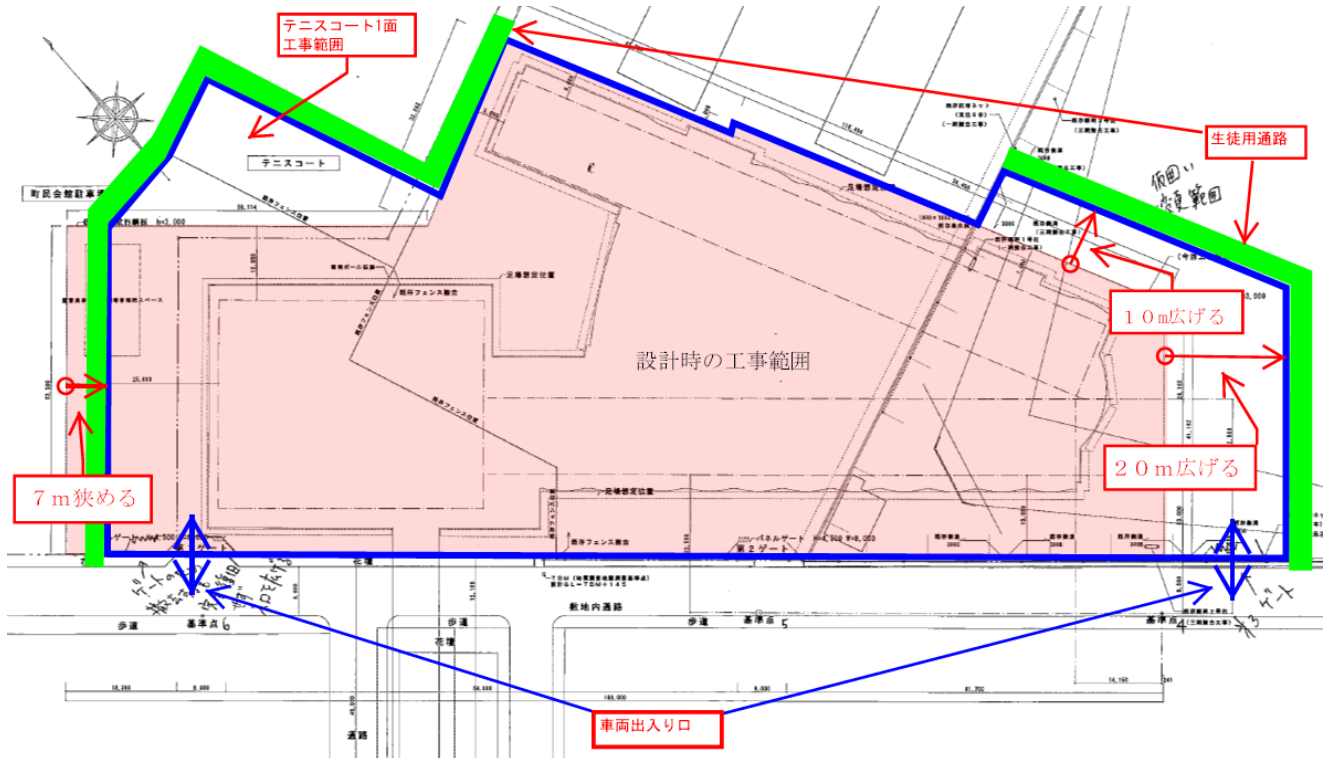
##### (1)着手

平成25年7月30日から仮囲いを設置。8月お盆過ぎには設置完了。

##### (2)仮囲いの設置

下図のように仮囲い範囲を変更。

高所作業車両の旋回範囲や町民会館用駐車スペースの確保のため、範囲変更。





## 2. 校舎建設内容について

### (1) 便所について

#### (ア) 6月議会

(意見) 社会に出て、小便器があっても使えなくなる。子供の小さいときからの訓練、慣れさせるのも教育の一つ。いじめにつながらないようにやっていくのも教育委員会、学校の先生の教えだ。小便器は絶対つけて頂きたい。

(答弁) すべて洋式便器とせず、小便器も設置する方向で、どこにいくら設置するか教育委員会で協議したい。

#### (イ) 6月定例教育委員会

以下の3案を事務局から提案。

- ・ A案：1階の外用便所③に小便器を設置する案。(外部施設利用者の使用を考慮した案。)
- ・ B案：A案に加え、東棟2階便所④(職員室付近)、西棟2階体育館前便所⑥に小便器を設置する案。(成人、来訪者の使用を考慮した案。)
- ・ C案：B案に加え東棟3階⑦(3, 4年教室付近)、東棟4階⑩(5, 6, 7年教室付近)に小便器を設置する案。(B案に加え、東棟の便所を小便器有りに統一した案。東棟の便所=小便器有りと、わかりやすさも考慮。)

B案、C案についての代案が出され、再協議になった。

#### (ウ) 7月定例教育委員会

D案及びE案も加えて協議

- ・ D案：B案に加え西棟3階体育館前便所⑨に小便器を設置する案。(成人、来訪者の使用を考慮した案。さらに体育館3階の応援者の利用を考慮。)
- ・ E案：C案に加え西棟3階体育館前便所⑨に小便器を設置する案。(成人、来訪者の使用を考慮したB案に加え、東棟の便所を小便器有りに統一し、さらに体育館3階の応援者の利用も考慮した案。)

(協議内容)

- ・ 東棟と西棟は個室だけの便所とし、外部利用者がある1階外用便所、2階職員室付近、2階及び3階の体育館前は小便器もある便所を併設する案に賛意もあった。
- ・ 個室だけの便所と小便器もある便所を併設し、どちらを使用するかを児童生徒が選択できるE案に賛意が多かった。

#### (エ) 教育委員会の考え方 (E案)

A. 来訪者の利用頻度を考慮する。

- (a) 1階外用便所に小便器を設置する。(2器)
- (b) 体育館便所2階及び3階に小便器を設置する。(8器)

B. 児童生徒が選択できるようにする。

- (a) 東棟(2階、3階、4階)に小便器を設置する。(12器)

別添資料 No. 7 校舎配置図面の丸数字と同一

|    |   | 現行 |   | A案 |   | B案 |    | C案 |    | D案 |    | E案 |    |
|----|---|----|---|----|---|----|----|----|----|----|----|----|----|
|    |   | 洋  | 小 | 洋  | 小 | 洋  | 小  | 洋  | 小  | 洋  | 小  | 洋  | 小  |
| 1階 | ① | 2  | 0 | 2  | 0 | 2  | 0  | 2  | 0  | 2  | 0  | 2  | 0  |
|    | ② | 2  | 0 | 2  | 0 | 2  | 0  | 2  | 0  | 2  | 0  | 2  | 0  |
|    | ③ | 2  | 0 | 1  | 2 | 1  | 2  | 1  | 2  | 1  | 2  | 1  | 2  |
| 2階 | ④ | 6  | 0 | 6  | 0 | 4  | 4  | 4  | 4  | 4  | 4  | 4  | 4  |
|    | ⑤ | 6  | 0 | 6  | 0 | 6  | 0  | 6  | 0  | 6  | 0  | 6  | 0  |
|    | ⑥ | 4  | 0 | 4  | 0 | 2  | 4  | 2  | 4  | 2  | 4  | 2  | 4  |
| 3階 | ⑦ | 6  | 0 | 6  | 0 | 6  | 0  | 4  | 4  | 6  | 0  | 4  | 4  |
|    | ⑧ | 6  | 0 | 6  | 0 | 6  | 0  | 6  | 0  | 6  | 0  | 6  | 0  |
|    | ⑨ | 4  | 0 | 4  | 0 | 4  | 0  | 4  | 0  | 2  | 4  | 2  | 4  |
| 4階 | ⑩ | 6  | 0 | 6  | 0 | 6  | 0  | 4  | 4  | 6  | 0  | 4  | 4  |
|    | ⑪ | 6  | 0 | 6  | 0 | 6  | 0  | 6  | 0  | 6  | 0  | 6  | 0  |
| 合計 |   | 50 | 0 | 49 | 2 | 45 | 10 | 41 | 18 | 43 | 14 | 39 | 22 |

A案：1階体育倉庫隣の便所に小便器を1つ設置

B案：A案＋2階東棟及び2階体育館接続部分に小便器を設置

C案：B案＋3階東棟及び4階東棟に小便器を設置

D案：B案＋3階体育館接続部分に小便器を設置

E案：C案＋3階体育館接続部分に小便器を設置

IV. その他

1. 先進校視察について

平成25年～26年度の協議内容を踏まえ、学校運営に係る内容の視察を提案。

特に、

- ①低学年からの英語活動
- ②教科担任制の実施
- ③独自学習の実施
- ④学校運営協議会(コミュニティスクール)の実施
- ⑤特色ある学校
- ⑥施設一体型

を基に、選定してはどうか。

| 自治体・学校         | 児童<br>生徒数 | 特徴                                   |             |                  |                  |                  |             | 開校年度 |                                  |
|----------------|-----------|--------------------------------------|-------------|------------------|------------------|------------------|-------------|------|----------------------------------|
|                |           |                                      | 制<br>導<br>入 | 教<br>科<br>担<br>任 | 英<br>語<br>学<br>習 | 独<br>自<br>学<br>習 | 協<br>議<br>会 |      | 学<br>校<br>運<br>営                 |
| 佐賀市小中一貫校芙蓉校    | 130名      | 県内で先駆的<br>既存校で実施                     | 3年より        |                  |                  |                  |             |      | H18.4                            |
| 大分市<br>賀来小中学校  | 903名      | 賀来幼稚園が隣接                             | 5年より        | 1年               |                  |                  |             | ○    | H19.4<br>H25.11 公開授業             |
| 高松市<br>高松第一学園  | 900名      | 3小2中統合<br>高松みらい科                     | 5年より        | 1年               | ○                |                  |             | ○    | H22.4<br>H25.11 公開授業             |
| 呉市<br>呉中央学園    | 820名      | 2小統合<br>生き方学習、選択学習                   | 5年より        | 5年               | ○                |                  |             | ○    | H19.4                            |
| 京都市<br>東山開晴館   | 900名      | 5小2中統合<br>読解の時間・東山探究                 | ○           | ○                | ○                | ○                | ○           | ○    | H23.4                            |
| 京都市<br>凌風学園    | 770名      | 5年生より部活動<br>5年生から50分授業               |             | 3年               |                  |                  | ○           | ○    | H24.4<br>H25.11 公開授業             |
| 信濃町立<br>信濃小中学校 | 600名      | 5小統合<br>ふるさと学習                       | 5年より        |                  | ○                | ○                |             |      | H24.4                            |
| つくば市<br>春日学園   | 1,200名    | 新設校<br>つくばスタイル科<br>つくばオンラインスタ<br>タディ | ※<br>小中両免   | 1年               | ○                |                  |             | ○    | H24.4<br>H25.11 小中一貫教<br>育全国サミット |